

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年10月時点】

医療機関名	母心堂平形眼科
所在地	群馬県渋川市石原966
沿革	大正年間中頃 平形医院として開設される。 昭和26年 平形医院に病棟建設、有床診療所となる。 その後、母心堂平形医院眼科として許可病床9床で運営されていた。 平成25年から 母心堂平形眼科、病床数5床で届出を行い、診療を行っている。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	5 床	床	床	床	床	5 床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	5 床	床	5 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在、病棟建設及び設備更新の計画中であり、当院隣接の県道拡幅工事予定に合わせ、県と協議の上、実施したい。 眼科手術や入院管理が必要とされる眼疾患に広く対応できる体制を構築する予定である。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (眼科)
------	----------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	○ へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	眼疾患全般の診療、小児眼科、ロービジョン対応				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	○ へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	眼科全般、小児眼科、ロービジョン対応、眼検診ドック				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	渋川中央病院	群馬中央病院	群馬大学附属病院
主な紹介先医療機関	群馬大学附属病院	いその眼科	高崎 佐藤眼科

5. 当院の特徴について

特徴的な 小児眼科医療	乳幼児期の眼疾患の診療を特に行っている。 県立小児医療センター各科及び県内小児科から、眼疾患の疑いの患者の紹介をうけ、診断・治療に当たっている。 必要に応じ、国立成育医療センターとも連携を図って対応している。
特徴的な ロービジョン対応	小児から成人まで、視機能回復困難な障害のある対象患者に対し、残存視機能の有効活用ができるよう指導・相談を行う。県立盲学校などの支援施設とも、連携を行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	病棟設備更新のため、外来診療を中心に行っているが、その中で当院で果たせる眼科診療全般について取り組んでいる。医療機器の進歩に合わせて、適切な装置の導入を図り、時代に即する医療の提供を心がけている。地方における人口減少にも関係するが、医療従事者の確立が課題となっている。
当院の未来像	防災・省エネルギー・バリアフリーを勘案した施設への移行、受診し易い、医療体制を構築する。 眼科医療を通じて、視覚の健全な保持を保ちつづけるよう、長寿社会に貢献できればと考えている。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	良好な眼の働きを保ち続けるのは、健康な生活を送るために、大切です。ほんの少しでも異常を感じる時は、早目の検査を受けることで、疾病が早期に発見されることもあります。 眼鏡ややコンタクトレンズの使い方も、誤って用いるために、不便さを感じてしまうこともあります。眼科専門医での検診をうけて下さい。